

令和6年度 第63回長野県中学校総合体育大会
南信地区大会 サッカー競技 開催要項

- 1 期 日
1日目 令和6年 6月 8日(土) 雨天決行 予備日 9日(日)
2日目 令和6年 6月15日(土) 雨天決行 予備日 16日(日)
3日目 令和6年 6月22日(土) 雨天決行 予備日 23日(日)
- 2 競技役員
競技委員長 松村元文(赤穂)
競技副委員長 宮下卓士(鼎) 田中健雄(茅野東部) 櫻田真大(赤穂)
競技委員 郡市専門委員
規律委員 松村元文(赤穂) 宮下卓士(鼎) 田中健雄(茅野東部) 櫻田真大(赤穂)
審判員 有資格審判員
救護連絡員 サッカー部顧問
- 3 大会運営スタッフ 保護者ボランティア 各校サッカー部保護者会
生徒役員: 赤穂中・箕輪中・喬木中・松川中・岡谷東部中・長峰中・(宮田中)
サッカー部員
- 4 参加資格及び申し込み
(1)複数の学校でのチーム(以下「合同チーム」)編成を認める。ただし、参加規定については、「長野県中学校体育大会合同チーム参加規程」に基づく。委任指導も認める。
(2)チームは、監督1名・コーチ1名・マネージャー1名・選手20名 計23名以内。
(3)大会期間中のケガや感染症等による登録変更は、南信中体連サッカー競技部所定の「登録変更用紙」の提出をもって認める。新たに「参加申込書」も作成し、(4)に使用する。
(4)1日目監督会議で「参加申込書」に必要事項を記入して学校長の職印を押して本部へ提出する。
(5)試合においては「参加申込書」のコピーを使用し、先発選手を記入して、審判団・本部記録・相手チームへ1部ずつ提出する。
- 5 会場
1日目 赤穂中・箕輪中・松川中・喬木中・岡谷東部中・長峰中・(予備会場:宮田中)
※予備日の場合も同様
2日目 赤穂中・箕輪中・松川中・岡谷東部中・長峰中 ※予備日の場合も同様
3日目 伊那市陸上競技場 ※予備日の場合は赤穂中
- 6 競技規則
(1)2024年度公益財団法人 日本サッカー協会競技規則による。新ルールを採用する。
(2)試合開始20分前までに別紙「参加申込書」のコピーで選手20名以内を主審に通告しておく。なお、選手交代はその中から最大限9名まで交代できる。1日目では、一旦交代した選手の再入場を認める。2日目以降は交代カードを使用し規定通り主審の許可を必要とする。(1日目は交代カードを使用せず、チームスタッフから主審への申し出で行う。)
(3)バッドマーク方式により本大会期間中、警告を2回受けた者は次の1試合に出場できない。また、退場させられた者は次の試合に出場できない。退場の内容によっては、その後の処置を規律委員で検討する。また警告の後退場させられた場合は、退場前の警告はそのまま効力をもち、退場による次試合の出場停止のあとでも消滅しない。最終試合での一発退場処分は、上位大会もしくは新人大会へ持ち越す。前年度新人大会の退場処分も、本大会に持ち越す。(本大会は該当なし)
(4)WBGT計測を行い状況に応じて飲水タイム(1分以内)やクーリングブレイクを設ける。ピッチサイドでハードボトル(水筒)使用は認めない。
(5)テクニカルエリアでの戦術的指示は役員1人が出て行う。
(6)試合球は各チーム2個持ち寄りとし、チーム名を明記する。新品でなくても良い。

7 ユニフォーム規定

- (1)登録した正副2組のユニフォーム（シャツ・ショーツ及びソックス）を試合会場に持参し、いずれか着用しなければならない。
- (2)正副の2色については明確に異なる色とする。ユニフォームのデザイン、ロゴなど製品のマイナーチェンジなどによって異なっても着用することができる。シャツが縞（縦も横も）の場合は、背番号表示をわかりやすくする。なお、合同チームに関しては、主たるチームのユニフォーム使用を原則とするが、配慮をする。
- (3)ゴールキーパーのユニフォームは、ショーツ、ソックスはFPと同系色でも良いものとする。
- (4)主審は、対戦するチームのユニフォームの色彩が類似しており判別しがたいと判断した時は、両チームの立ち会いの下に、その試合に着用するユニフォームを決定する。
- (5)ソックスにテープまたはその他の材質の物を張り付ける、または外部に着用する場合、ソックスと同色でなくても良い。
- (6)アンダーシャツ、アンダーショーツならびにタイツの色は問わない。ただし原則としてチーム内で同色の物を着用する。
- (7)選手に危害が及ぶ恐れのあるギブスや装身具などは外さなければならない。

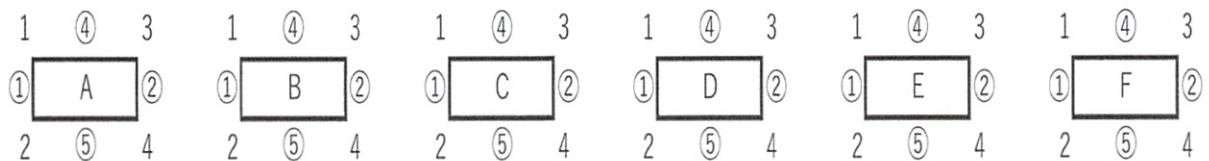
8 競技方法

- (1)1日目は25分ハーフ インターバル7分 延長無しで リーグの上位2チームが2日目に進出
- (2)2日目は30分ハーフ インターバル10分 延長無しで リーグの上位1チームが3日目に進出
- (3)3日目は30分ハーフ インターバル10分 決しない場合は10分延長（5分ハーフ）PK方式 上位大会順位決定のため3位決定戦あり。
- (4)リーグ順位決定方法
 - ①勝ち点（勝ち3点 引き分け1点 負け0点）②直接対戦結果③得失点差④総得点数⑤フェアプレーポイント（警告-1 退場-2 同数は退場なしが上）⑥PK
- (5)選手数が7人未満で試合が成立しなかった場合は、当該チームを不戦敗とする。
スコアは、会場の最大得失点差とする。
*特別措置として、選手数が7人未満で試合が成立しない場合は、審判長（会場運営担当）が、会場内で対戦の組み替えを行う。その際の試合開始時間は相応分調整する。
- (6)ピッチ内練習は、試合開始20分前～10分間。試合延長の場合はピッチ内練習を短縮か実施せず。

9 組み合わせ

①9:00～	②10:20～	③11:40～	④13:00～	⑤14:20～
1日目は25-7-25		2日目以降は30-10-30		

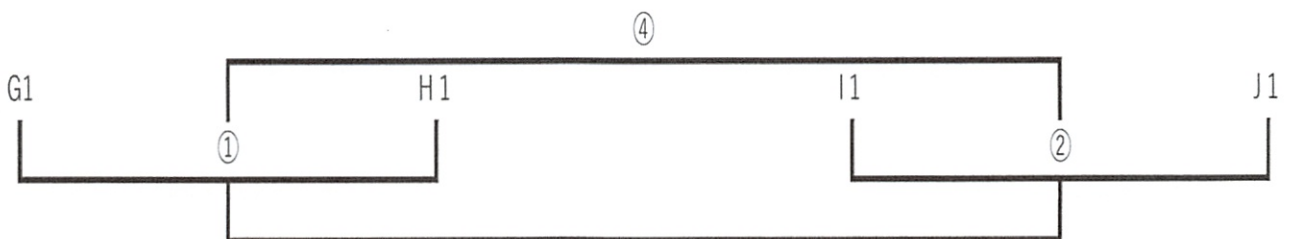
1日目



2日目



3日目



10 組み合わせにおける申し合わせ事項

(1) 昨年度新人戦の結果、以下のようにシードグループを分ける。

第1グループ：箕輪・岡谷東部・赤穂・南箕輪

第2グループ：岡谷北部&西部・飯島・高森・富士見&原

第3グループ：飯田西・辰野・旭ヶ丘&阿南一・諏訪南

第4グループ：伊那東部・鼎&阿智&喬木・松川・宮田

第5グループ：緑ヶ丘・長峰&茅野東部&永明・下諏訪&社・春富・諏訪西・伊那

(2) 組み合わせにおける配慮点

① 第1グループを決勝トーナメントで対戦するように分ける。

② 第2グループを第1グループの隣の会場に分ける。

③ 第3グループを第2グループの対角に分ける。

④ 残りの枠に、第4・5グループをそれぞれ分ける。

⑤ 最終は、郡市・南信計4名の専門委員長責任抽選で決定する。

* 1 1日目において、会場校を考慮するが、①②③のシードを優先する。

* 2 1日目は、試合間隔は左下が一番空くが得失点が順位に関わるので右下をトップシードにする。

* 3 昨年の新人大会で合同チームであった学校が単独出場となった場合は、4名の専門委員長で協議し、グループを決定する。

* 4 箕輪中学校がトップシードとなる。(下①による)

トップシード校の決定申し合わせ：①前大会におけるベスト4進出数が最多地区であり前大会の上位校。

②ベスト4進出地区が同数の場合は上位校。